



長尾 義信

地域・まちづくりの実現を

児童・生徒の荷物の重量化について

問 登下校時の児童・生徒の荷物の重量化の認識及び負担軽減について教育委員会としての見解を問う。

答 本年9月、文部科学省から教科書などの学用品の持ち帰りについて柔軟に対応するよう通知があり、小・中学校へ周知した。教育委員会として、毎月開催している校長、副校長会等において、適宜その状況を確認し、適切に対応していきたいと考えている。



地域活性化に向けたスポーツ事業の取り組み

問 3年間にわたり本町で開催された近畿高校駅伝競走大会の実績を活かし、新規のスポーツ事業などスポーツを活かしたまちづくりや交流人口の拡大を問う。

答 伝統の能勢高原マラソン大会の内容の充実も含め、スポーツを活かしたまちづくり・地域づくりを推進していきたいと考えている。



屋外の公衆トイレの清掃等の維持管理

問 公衆トイレは誰もがいつでも利用できる施設として、清潔に保たなければならぬ。本町としての日常点検や清掃などの現況等を問う。

答 清掃等維持管理においては、能勢町シルバー人材センターに委託しそれぞれ月に2回清掃を主とした維持管理を行っている。また、担当職員も適宜衛生状態の確認を行い、都度維持管理に努めている。

一般質問



伊木 真由子

一、災害への対応 二、移動支援

災害への対応

問 今回の災害対応での課題について問う。

答 現場確認や避難所運営を少数の職員で長期対応してきた。今後、町職員だけでは対応が困難な場合の対応策も考える。

問 今後の改善点は。
答 地域の集会所等を一時的避難所とするなど、住民が早めに避難できるような環境の整備に取り組んでいきたい。



移動支援

問 10月より路線バス事業者西能勢線が減便になった。減便にあたってどのような協議を行なったのか。

答 バス事業者から運転士不足・利用者の減少のため、運行ダイヤを見直したいと申し入れがあった。現状維持を申し入れたが路線バス事業も厳しく輸送力の調整は避けられないという結論に到った。

問 西能勢線の補助金を出している路線バスの区間の現状は。
答 西能勢線は、現在2800万円の赤字である。この区間に対しては平成9年から固定した金額で、1000万円を補助している。

問 バス路線を維持するための補助金への考えは。

答 路線バス事業者には町内全路線に対して、約3000万円を補助している。どこまでもというわけにはいかない。できている中で補助していきたい。

問 バス路線維持についての考えは。
答 人口減少下で公共交通の縮小が余儀なくされている。さまざまな交通手段を組み合わせる中でバス交通を維持し、鉄道までの接続を考えていく必要がある。

